

データ駆動イノベーション推進本部

Data - Driven Innovation Initiative

研究データ管理支援部門

研究データ管理・公開に係る4つの要求

データマネジメントプラン (DMP) の提出

- 各国の主要助成機関では、**申請時にDMP提出を義務化**
- 国内：科研費では、**2023年度から採択されたすべての研究課題についてDMPの提出を義務化**

研究公正のための研究データの管理・保存

- 研究活動における不正行為への対応・健全性の向上
- データの保存期間は、**原則、当該論文等の発表後10年間**

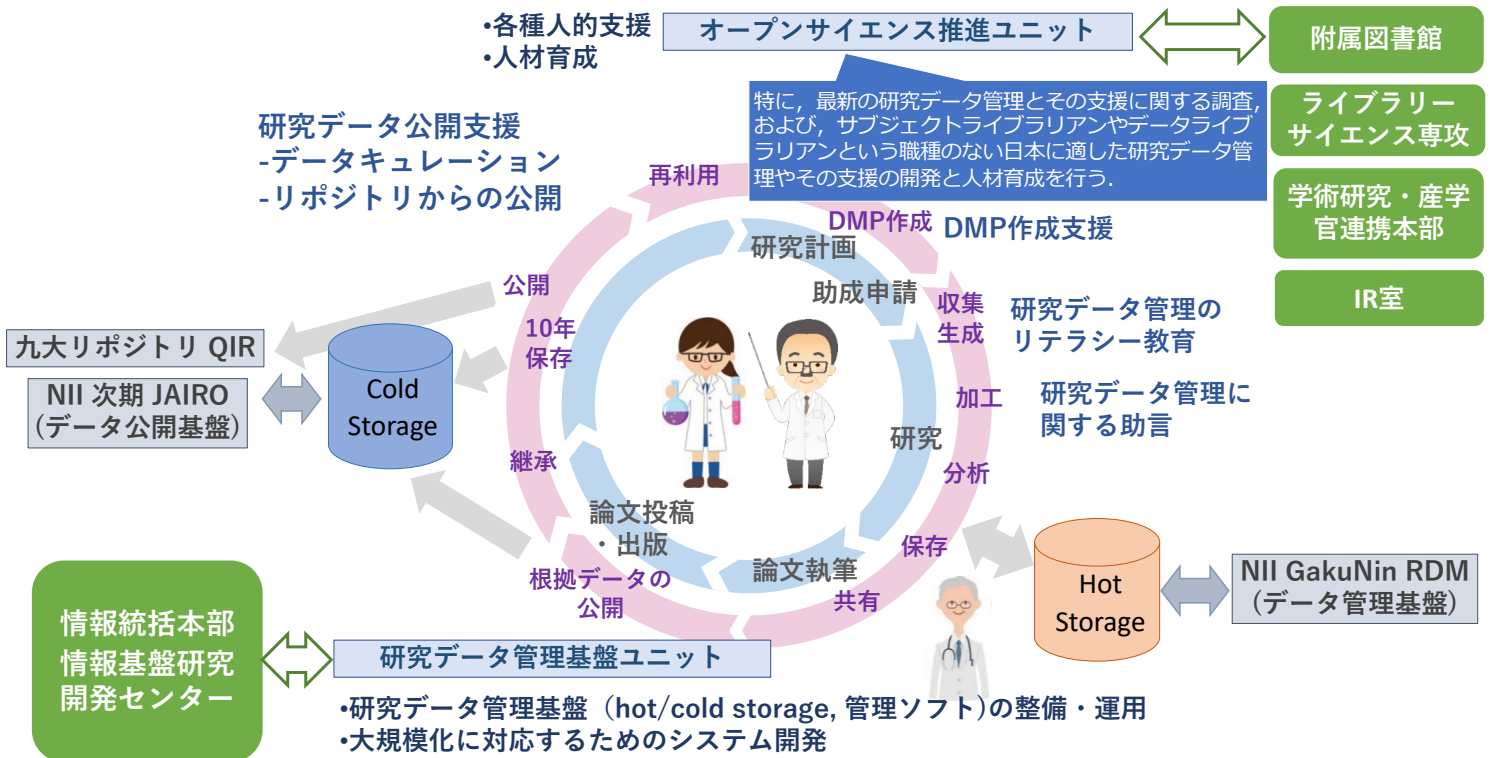
投稿論文における根拠データの開示

- 多くの学術誌がデータポリシーにおいて、**信頼性のあるリポジトリにデータを保存・公開すること**を要求
- 各出版社はデータサポートサービスを提供

研究データのオープン化

- **オープンサイエンス**：データ駆動型研究、社会における利活用→新たな知見の創出
- **コロナ禍によりますますその必然性・重要性が増加**

研究データの保存・共有・公開のためのインフラを整備するとともに、データポリシー策定、研究データ管理に係る人的支援（データ管理計画（DMP）作成支援、研究データ管理（RDM）に関する助言、研究データ公開の支援、学生へのリテラシー教育など）を行う。整備するインフラを前提とした研究データ管理の支援の実践を通して、日本の事情に適した研究データ管理支援法の開発と、ライブラリーサイエンス専攻と附属図書館と連携した、研究データ管理支援人材の実践的な育成が、大きな特徴である。



実施内容

オープンサイエンス推進

- RDMオンデマンド教材の設計・開発・配信・改良
- 部局の研究データ管理・公開の実施要領作成の支援
- DMP雛形収集・DMP作成支援
- RDMに関する助言
- データのオープン化支援（九大リポジトリQIRでの公開など）
- 研究データ管理の支援人材の実践的な育成

研究データ管理基盤整備

- 研究データ管理基盤の整備・運用
- 大規模データ共有・公開のパイロット事例の支援
→ 大規模データ共有・公開基盤の開発・運用・拡充
- GakuNin RDM パイロット運用・ガイドライン作成
→ GakuNin RDM の全学展開